

本町地区

総合計画はだの2030プラン後期基本計画

地域が考えるまちづくり計画案



令和7年3月

本町地区
地域まちづくり計画策定会議

1 現状と課題

(1) にぎわい

県道705号（秦野駅前通り）沿い及び本町四ツ角周辺は、中心商業地としての活力が失われ、商店街の活性化や駅周辺での若者の居場所づくりが課題となっていますが、本町地区のまちの活性化に向け、市民と行政の協働によるまちづくりが進められています。

<策定会議の意見より>

- **市民と行政による「協働」が重要**
- ・ NPO法人については、活動実態を踏まえ、記載から除くほうが良い。
- ・ 「市民主体」は「市民と行政の協働による」に変更したほうが良い。

(2) 交流

地域イベント、自治会活動などへの市民参加が減少しつつあります。一方、秦野曽屋高校が立地していることから、高校と連携した地域活動や交流イベントが実施されています。また、外国籍市民が増えており、多文化共生の取組みが必要です。

<策定会議の意見より>

- **秦野曽屋高校と連携した地域活動や交流イベントが実施されていることを明記**
- ・ 秦野曽屋高校と連携した地域活動は既に実施している。

(3) 高齢者・子育て環境

高齢化が進んでいるため、高齢者の生活を地域ぐるみで支援していくことが必要です。また、少子化が進んでおり、地域で子育てを支援することが求められています。

<策定会議の意見より>

- **現行の計画内容を継続**

(4) 道路・交通

見通しが悪い道路や歩道がない道路が多く、安全確保の対策を進める必要があります。
また、交通渋滞対策も求められています。

<策定会議の意見より>

- 現行の計画内容を継続

(5) 防災・防犯

自治会加入率の低下などによる地域のつながりの更なる希薄化に伴い、これまでの防災・防犯対策の継続が難しくなっています。

また、近年、異常気象による水害や土砂災害対策への関心が高まっており、災害時の安全な避難方法を検討する必要があります。

さらに、防犯意識の更なる高揚、地域ぐるみでの防犯体制の強化も必要です。

<策定会議の意見より>

- 多様な災害への対応が重要

- ・ 土砂災害、河川整備等は喫緊の課題で関心が高まっている。

- 地域ぐるみでの防犯体制が重要

- ・ 自治会加入率の低下などにより、地域内での顔見知りのコミュニケーションが以前より難しくなっている。そのため、地域の人それぞれの防犯意識を高め、地域ぐるみでの防犯強化につなげていくことが必要である。

(6) 歴史・文化・自然環境

古くから中心市街地としての歴史があり、地元ボランティア団体によってPR活動が展開されている曽屋水道（国登録記念物）や、多数の国登録文化財が立地しています。

また、葛葉川、水無川、弘法山などのほか、湧水もあり、自然環境が豊かです。

これらの魅力をより高めていくことが、愛着の持てる住みよいまちづくりにつながります。

<策定会議の意見より>

- 自然環境としての山や川に加え、湧水を強調することも重要

- ・ 市役所前を流れるせせらぎや井之明神水などは魅力的なスポットがあることから、豊かな湧水について追加したほうが良い。

2 目指すまちの姿

(1) 目指すまちの姿(将来像)

活力とふれあいに満ちた、きれいで安全な暮らしよいまち

(2) 基本理念

コミュニティ活動が活発で高齢者から子どもたちに伝統文化が受け継がれるなど、世代間の交流が盛んなふれあいの心を大切にしたいまちを目指します。

(3) 地域づくりの基本目標

- ①にぎわいづくりによる活気あふれるまち
- ②地域活動や世代間の交流が盛んで、多文化が共生するあたたかいまち
- ③みんなで子どもや高齢者、障害者を支えるまち
- ④子どもや高齢者の交通安全が確保されたまち
- ⑤安心して暮らせる災害に強く、治安のよいまち
- ⑥豊かな自然に囲まれ、歴史と伝統を感じるまち

<策定会議の意見より>

●表現を修正 <地域づくりの基本目標>

- ・「多世代」は「世代間」に修正したほうが良い。

3 地域版リーディングプロジェクト

【プロジェクト名】

子ども・若者たちと連携した地域の活性化

【プロジェクトの背景・目的】

- **地域活動の担い手が高齢化、不足している**
 - ・ 子ども・若者たちが地域活動に関わることにより、地域活動の担い手が多様化し、地域活性化につながる。
- **子ども・若者たちにもっと秦野のことを知ってほしい**
 - ・ 子ども・若者たちが、更に地域と関わることにより、多様な学びの機会を得ることができる。
 - ・ 将来、他市に住んでいる場合でも、秦野市を思い出してもらい、ふるさと納税やUターンなどにつながる可能性がある。
- **さまざまな分野に横断的に関わる内容である**
 - ・ 子ども・若者たちとの連携による地域活動や世代間の交流などの取組みを進めることができ、多くの地域の課題の解決につながるため、リーディングプロジェクトにふさわしい。
- **県道705号（秦野駅前通り）拡幅を契機としたまちづくり**
 - ・ 令和8年度に予定されている県道705号（秦野駅前通り）の拡幅整備を契機とした、地域の活性化が求められている。

<策定会議の意見より>

- **県道705号（秦野駅前通り）拡幅を契機とした地域の活性化が必要**
 - ・ 県道705号の拡幅に伴う、地域の活性化を考えていく必要がある。
- **地域内の様々な学校との連携が必要**
 - ・ 秦野曽屋高校と連携した取組みは、地域に定着しており、リーディングプロジェクトでは新たな取組みを検討すべきではないか。
 - ・ 秦野曽屋高校だけでなく、本町地区には、小学校、中学校のほか、県立西部総合職業技術校も立地している。これらの様々な学校との連携を盛り込む必要があるのではないか。

3 地域版リーディングプロジェクト（続き）

【プロジェクトの内容】

- 地域と学校との連携
 - ・自治会館や「あつまる！本町交流館」等を利用した部活動発表会の開催
 - ・地域イベント（お祭り）への参加やボランティア活動（清掃活動等）の共同実施
 - ・市のイベントを通じた地域と子ども・若者たちとの交流
 - ・学校イベント（文化祭や伝統行事など）への協力
- 県道705号沿い（秦野駅前通り）及び本町四ツ角周辺の活性化に向けたまちづくりへの参加促進
- 地域活動拠点の活用
 - ・県道705号沿い（秦野駅前通り）に計画されている「多世代交流施設」の地域活動拠点としての活用検討
- 駅周辺の若者の居場所づくり

【推進体制】

- ・学校運営協議会の場合も用いて、具体的な方法を検討していく。
- ・既に実施されている活動もあるため、地域と学校がお互い負担感を感じないように留意する。

<策定会議の意見より>

- 若者が集まりやすい、居場所づくりが重要
 - ・駅前の河川敷を開放するなど、高校生を中心に、高校生ならではの視点や発想で、若者が気軽に立ち寄りやすい場所づくりをプロジェクトに追加してはどうか。
 - ・河川敷の活用は、平塚土木事務所の許可が必要であること、過去に水難事故が発生した例もあり、ハードルが高い。趣旨は生かし多様な可能性を検討してはどうか。

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
① にぎわいづくりによる活気あふれるまち	●県道705号沿い（秦野駅前通り）及び本町四ツ角周辺の活性化に向けたまちづくりへの参加促進	地域全体
	●地域活動拠点の活用 ・ 本町公民館や「あつまる！本町交流館」など、地域の活動拠点の活用 ・ 県道705号沿い（秦野駅前通り）に計画されている「多世代交流施設」の地域活動拠点としての活用検討	行政・まちづくり委員会
	●駅周辺の若者の居場所づくり ・ 「ぱれっと・はだの」などを若者も気軽に立ち寄れる場として活用・PR	行政・まちづくり委員会

<策定会議の意見より>

●地域活動拠点の明記が必要

- ・ 既に地域の活動拠点の“検討”は終わり、“活用”の段階に移っている。
- ・ 本町地区の地域活動拠点となっている「あつまる！本町交流館」を追加したほうが良い。
- ・ 県道705号沿いに計画されている「多世代交流施設」について、地域活動拠点としての活用や連携を検討したい。

●若者の居場所づくりが必要

- ・ 空き店舗を活用して、中高生の居場所などを考えてみても良いのではないかな。軽食・文具等置いたりしてはどうか。
- ・ 駅前の河川敷を開放して、若者もみんなが立ち寄れる場を高校生を中心にして企画し、行政・まちづくり委員会で応援することを検討したい。

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）（続き）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
② 地域活動や世代間の交流が盛んで、多文化が共生するあたたかいまち	●自治会への加入促進 - 自治会加入のメリット、未加入のデメリットを広める取組み - アパートや賃貸マンションオーナー、管理会社と連携した加入促進の取組み - 日頃からあいさつをして、顔なじみになる - 地域での助けあいを進める	自治会
	●地域での多文化共生の取組み - 自治会活動、地域情報をわかりやすく発信 - 外国籍市民との交流促進	行政・自治会
	●末広ふれあいセンター及び自治会会館を拠点とした世代間交流の促進	地域全体
	●地域と学校との連携 - 自治会館や「あつまる！本町交流館」等を利用した部活動発表会の開催 - 地域のイベント（お祭り）への参加やボランティア活動（清掃活動等）の共同実施 - 市のイベントを通じた地域と子ども・若者たちとの交流 - 学校イベント（文化祭や伝統行事など）への協力	地域・学校

<策定会議の意見より>

●自治会への加入促進に向けた民間との連携体制の構築が重要

- アパートや賃貸マンションのオーナーや管理会社と連携した、入居者に対する自治会への加入促進に取り組みたい。

●多文化共生に向けた具体的な取組みが必要

- 外国の人との交流を増やすことも必要。

●世代間交流の充実が必要

- ミニデイサービスや自治会単位のサロン活動充実させたい。
- 「あつまる！本町交流館」が「だれもが、ふらっと立ち寄れる」場所になると良い。

●リーディングプロジェクトと整合を図ることが必要

- リーディングプロジェクトと合わせ、学校との連携強化を修正したほうが良い。

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
③ みんなで子どもや高齢者、障害者を支えるまち	●高齢者・障害者の健康・いきがづくり ・ ボランティアによるデイサービスの拡充 ・ 福祉ふれあいまつり、敬老会、サロン活動など、地域行事への参加促進 ・ 長寿祝記念品の配布	地域全体
	●単身高齢者の支援 ・ 緊急通報装置及び見守りキーホルダーの普及促進	行政・自治会
	●地域での子どもの見守り、居場所づくり ・ 地域が一体となって子どもの見守りに取り組む体制づくり ・ ボランティアによる登下校時の見守り ・ 子ども食堂の実施等の検討	自治会・地区社協
④ 子どもや高齢者の交通安全が確保されたまち	●交通安全対策 ・ 各自治会や学校における交通マナーの講習会の充実	行政・自治会

<策定会議の意見より>

●高齢者の健康・いきがづくりに係る、多様な活動が重要

- ・ ふれあいまつり、敬老会、みんなのサロン、長寿祝記念品の配布など、既に実施している取組みを追加してどうか。

●自転車等の交通マナーをより幅広く周知することが重要

- ・ 自転車の歩道上の暴走・交差点の違反走行・ヘルメットの無着用・車道上の暴走行為等、いまだに著しく危険な状況が散見されるため、自転車の交通マナー講習会を更に充実させる必要がある。
- ・ 子どもたちだけではなく、運転者や高齢者にも講習会を開催するのも良い。

4 主な取組み・すすめる活動（地域主体の取組み・地域と行政との協働の取組み）（続き）

基本目標	主な取組み・すすめる活動	主体
⑤ 安心して暮らせる災害に強く、治安のよいまち	●防犯・防災意識の向上 - 防犯パトロールの実施 - ハザードマップ(みんなの防災マップ)の作成と理解促進	行政・自治会
	●高齢者がスムーズに避難できるしくみづくり - 隣近所で一緒に避難できる体制づくり - 避難行動要支援者名簿の共有	行政・自治会・民生委員
⑥ 豊かな自然に囲まれ、歴史と伝統を感じるまち	●伝統行事や郷土の歴史の継承 地域内の神社仏閣等、曾屋水道、本町四ツ角周辺の国登録有形文化財など	行政・有志団体
	●環境美化活動の推進 - アダプト制度によるみずなし川緑地、さかえちょう公園等の管理や環境美化活動の推進 - 市役所前から本町小学校までのせせらぎの清掃	行政・自治会・ボランティア団体

<策定会議の意見より>

●防犯パトロールの充実が必要

- 地域をよく把握している住民同士で巡回頻度を上げ、より緻密な防犯対策が取れるため、防犯パトロールを自治会の組単位で実施してはどうか。

●ハザードマップの作成と周知が重要

- ハザードマップをもっと大々的に共有していった方が良い。
- 住民みんなで現地を隅々まで把握でき理解が深まるため、ハザードマップを自治会単位で作成し理解を図る。

●伝統文化の継承が必要

- 学生や児童・生徒向けに伝統を継承する機会をより一層設けた方が良い。

●豊かな湧水のPRが必要

- 名水百選の豊かな水の郷土であることを更にアピールするため、市役所前から本町小学校の校門まで流れているせせらぎの清掃を追加したい。

5 本町地区地域まちづくり計画策定会議のあらまし

(1) 地域まちづくり計画策定会議委員（選出分野）

本町地区自治会連合会	民生委員・児童委員	子ども育成会
婦人会	老人クラブ	すえひろミニデイ
青少年指導員	体育協会	秦野曽屋高校生

委員数15名

(2) 主な検討経過

回数	日程・会場	内容
第1回	令和6年11月16日(土) 14:00～ 市役所講堂	- 地域まちづくり計画の目的や策定の進め方等の確認 - 策定に当たっての基本情報の共有 - 前期地域まちづくり計画に対する意見（課題カードの作成）
第2回	令和6年12月21日(土) 14:00～ 市役所講堂	課題カードの取りまとめ結果を踏まえた意見交換
第3回	令和7年1月18日(土) 14:00～ 市役所講堂	「地域が考えるまちづくり計画案」の原案を踏まえた意見交換
第4回	令和7年2月15日(土) 14:00～ 市役所西庁舎3階大会議室	「地域が考えるまちづくり計画案」の決定

